

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 福

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社
 コード番号 4827 URL <http://www.businessone-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 兼清 美隆
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 092-534-7210

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,640	8.2	102	70.6	82	96.5	67	70.0
25年3月期第2四半期	1,516	15.0	59	△59.4	42	△68.2	39	△57.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 67百万円 (70.0%) 25年3月期第2四半期 39百万円 (△57.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1,627.89	—
25年3月期第2四半期	957.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	3,999	801	20.0	19,309.38
25年3月期	3,063	741	24.2	17,881.48

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 801百万円 25年3月期 741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	18.2	250	20.2	200	16.3	180	27.1	4,338.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	41,489 株	25年3月期	41,489 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	0 株	25年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	41,489 株	25年3月期2Q	41,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産の持ち直しにより企業収益や景況感が改善しております。また個人消費も底堅く推移し、緩やかな回復局面が続く中、来年4月の消費税増税に向けた駆け込み需要等も景気を押し上げる要因として考えられ、物価の動向から判断するとデフレ状況ではなくなりつつあります。アベノミクスへの期待感や米経済指標などを背景とし、対米ドル円レートは円安傾向に進むとともに、株式相場も一時下落する場面もありましたが、上昇局面が続いております。しかしながら、米国債務上限引き上げ問題や欧州政府債務問題、中国やその他新興国経済の先行き、地政学的リスクの高まり等、海外景気の下振れがわが国の経済を下押しするリスクとなっていることに注意が必要であります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的とし、各事業部門の利益確保を意識した収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,640,901千円（前年同期比8.2%増）、営業利益102,262千円（同70.6%増）、経常利益82,777千円（同96.5%増）、四半期純利益67,539千円（同70.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産事業

買取物件再販事業、競売落札事業ともに、売上は堅調に推移いたしました。前年同四半期ほどの利益確保までは至りませんでした。その結果、当第2四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は932,764千円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益60,452千円（同30.0%減）となりました。

②マンション管理事業

業界の競争激化の影響により、マンション管理事業部門の業績は非常に厳しい状況が続いておりますが、業界最大手の「株式会社大京アステージ」との業務提携に基づき、抜本的なインフラの再構築をすすめるとともに、新しいマンション管理の受託を目指し企業基盤の強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は507,922千円（前年同期比7.0%増）、セグメント損失10,259千円（前年同期はセグメント損失18,421千円）となりました。

③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業を行っております。また、賃貸管理事業の拡大を目指し、インフラの整備を含めた組織強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は、賃貸等不動産の増加に伴い115,306千円（前年同期比84.9%増）、セグメント利益41,059千円（同67.1%増）となりました。

④ソフトウェア事業

当第2四半期連結累計期間においては、従来推し進めておりますパッケージソフト販売部門の強化に加え、マイクロソフト社のOS「WindowsXP」の保守終了に伴う企業のパソコン買い替え需要の喚起により、当社販売のパッケージソフト売上が第1四半期に引き続き好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は111,118千円（前年同期比85.7%増）、セグメント利益50,757千円（同1,848.3%増）となりました。

⑤ファイナンス事業

法人向け不動産担保ローンを中心として行っております。当第2四半期連結累計期間においては、大口融資案件の増加から、売上高は8,742千円（前年同期比101.0%増）、セグメント利益4,928千円（同432.9%増）となりました。

⑥その他の事業

組織改変、事業拡大等による経費増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は99,557千円（前年同期比7.6%減）、セグメント損失34,209千円（前年同期はセグメント損失301千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,625,873千円となり、前連結会計年度末に比べ159,908千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が59,867千円、営業貸付金が68,888千円、販売用不動産が46,493千円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,373,623千円となり、前連結会計年度末に比べ775,982千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が383,566千円、土地が349,306千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,999,496千円となり、前連結会計年度末に比べ935,891千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,421,834千円となり、前連結会計年度末に比べ284,251千円増加いたしました。これは主に短期借入金が199,546千円、1年内返済予定の長期借入金が63,226千円増加したことによるものであります。固定負債は1,776,535千円となり、前連結会計年度末に比べ592,397千円増加いたしました。これは主に長期借入金が535,722千円、賃貸事業に係る預り敷金が52,170千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,198,369千円となり、前連結会計年度末に比べ876,649千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は801,126千円となり、前連結会計年度末に比べ59,241千円増加いたしました。これは四半期純利益67,539千円及び剰余金の配当8,297千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.0%（前連結会計年度末は24.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日の「平成25年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。なお詳細につきましては、本日付で発表しております「平成26年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(表示方法の変更)

(損益計算書)

従来、不動産賃貸原価については、「販売費及び一般管理費」に計上しておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、「売上原価」に計上する方法に変更しました。

この変更は、不動産賃貸事業を当社の主要な事業の一部と位置付け、当第2四半期連結会計期間に新規の賃貸物件を取得したことに伴い、不動産賃貸原価の重要性が増してきたことから、営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。その結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」に含めて表示しておりました22,784千円は、「売上原価」として組替えております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	294,631	354,498
受取手形及び売掛金	104,050	99,983
販売用不動産	863,127	909,620
原材料及び貯蔵品	254	577
営業貸付金	125,000	193,888
その他	95,071	83,524
貸倒引当金	△16,170	△16,219
流動資産合計	1,465,964	1,625,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	611,771	995,337
土地	873,115	1,222,422
その他	5,657	45,186
有形固定資産合計	1,490,545	2,262,946
無形固定資産		
のれん	47,486	46,192
その他	22,321	21,445
無形固定資産合計	69,808	67,638
投資その他の資産		
投資その他の資産	37,764	43,095
貸倒引当金	△477	△56
投資その他の資産合計	37,287	43,038
固定資産合計	1,597,640	2,373,623
資産合計	3,063,605	3,999,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,804	42,526
短期借入金	713,926	913,472
1年内返済予定の長期借入金	207,315	270,541
未払法人税等	19,072	17,666
賞与引当金	20,000	13,150
その他	140,465	164,477
流動負債合計	1,137,582	1,421,834
固定負債		
長期借入金	1,129,540	1,665,262
その他	54,597	111,273
固定負債合計	1,184,137	1,776,535
負債合計	2,321,720	3,198,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	305,850	365,092
株主資本合計	741,884	801,126
純資産合計	741,884	801,126
負債純資産合計	3,063,605	3,999,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,516,500	1,640,901
売上原価	1,172,751	1,251,994
売上総利益	343,748	388,906
販売費及び一般管理費	283,815	286,643
営業利益	59,933	102,262
営業外収益		
受取利息	33	29
受取配当金	44	44
受取保険料	—	706
助成金収入	2,250	2,100
その他	440	422
営業外収益合計	2,768	3,302
営業外費用		
支払利息	16,215	21,647
社債利息	1,500	—
その他	2,868	1,140
営業外費用合計	20,583	22,788
経常利益	42,118	82,777
税金等調整前四半期純利益	42,118	82,777
法人税、住民税及び事業税	2,389	15,237
法人税等合計	2,389	15,237
少数株主損益調整前四半期純利益	39,729	67,539
少数株主利益	—	—
四半期純利益	39,729	67,539

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,729	67,539
四半期包括利益	39,729	67,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,729	67,539
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社は平成25年10月17日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の取得を決議いたしました。

1. 取得の目的

今回の取得は、賃貸等不動産の更なる増加により、当社グループの収益安定化を目指すものであります。

2. 取得資産の内容

- | | |
|-------------|---------------------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成25年10月17日 |
| (2) 引渡日 | 平成25年10月31日 |
| (3) 所在地 | 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目569番、570番 |
| (4) 内容 | |
| イ. 土地 | 面積：297.94㎡ |
| ロ. 建物 | 面積：1612.04㎡ |
| | 構造：鉄骨造陸屋根9階建 |
3. 取得価額 450百万円